

# MIRS競技会の結果と 今後の予定

# 競技会結果

- 全チーム、自ら得点を取ることが出来なかった。
  - ただし、
    - 2班: 風船の大きさが規格より小さかった？
    - 3班: 宝番号表示はサーバプログラムのバグの可能性
- 審査員特別賞
  - 3班

# 競技会について

- 競技会の進行は、これまでの競技会の中で最もスムーズだった。  
(2回のリハーサルの成果)
- 2回目の競技では、2, 3, 4班はそれなりのパフォーマンスを示した。
- 怪盗は完璧に動作した。(速度が出過ぎ?)
- 最終盤はどのチームもチームとして機能した。
  
- その他
  - 輝一の絶叫MC
  - 大沼先生の怪盗パフォーマンス
  - 結果を知っていたかのような Last の Movie
  - 電圧源と電流源
  
- 競技会で結果を残すためには、何が必要か？
  - 調整、バグフィックス、想定外動作への対応 → 繰り返し

# テスト前

- 1月30日(金)、2月2日(月)、2月4日(水)  
(金曜振替)
  - 作業記録の入力
  - 詳細設計書等のドキュメント改定
  - パート毎の開発報告書、開発完了報告書の作成  
(2月4日に一度レビューを受ける、最低でも事前確認を受ける)

# テスト後

- 2月13日(金)
  - パート毎開発報告書、開発完了報告書のレビュー
- 2月23日(月)
  - MIRS開発の総括
    - 各チームのリーダーからの総括
    - 1年間のMIRS開発の振り返り
    - スタッフ全員からのコメント

# パート毎の開発報告書

- メカニクス開発報告書
- エレクトロニクス開発報告書
- ソフトウェア開発報告書
  
- 内容
  - 製作したものの一覧、製作物の写真(メカ、エレキ)
  - テスト結果、完成度の評価
  - 詳細設計書(および試験報告書)へのリンク
  - ソースコードへのリンク(ソフト)
  - 総括

# 開発完了報告書

- 後期からのオリジナルMIRSの開発に関する分析、総括を行い、報告書にまとめる。
- 構成
  - 競技会結果
    - 得点でなく、どのようなパフォーマンスを示すことができたか、何が原因で出来なかったか等を記述する。
  - 開発スケジュール分析
    - 当初予定していた開発スケジュール表と実際の進捗表を比較し、開発が遅れた要因を分析する。
  - 開発工数分析
    - 各人の作業時間をメカ、エレキ、ソフト、その他に分類し、パート毎の総開発時間を算出し、その観点から開発の問題点などを分析する。 [MIRS1301](#)
  - 総括（全体のみ、パート毎は不要）
  - 感想（個人）

# CP班

- 競技会実施報告書
  - 競技結果
  - 競技会に向けて行ったことを全て記載する。
    - 準備、宣伝、競技会
    - いつ、誰が、どのように…
    - 作成した資料一覧(全てをリンクする。)
  - 競技会アンケート結果(兼任メンバーの協力?)
  - 全体の総括、個人の感想
- 怪盗機製造報告書等の製造ドキュメントの改定
  - 第3者が同じものを製作するために必要な情報を記載する。
  - 写真、ソースコード等も付ける。